

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3891400032
法人名	株式会社 たかちほ
事業所名	グループホーム明浜館
所在地	西予市明浜町高山甲688番地
自己評価作成日	平成23年6月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成23年7月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

よく食べ、よく出し、よく笑う。笑顔でふれあいを大切に。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

青い海と緑の山々に囲まれた、風光明媚な高台にある事業所である。建物は木材が多用され、温かな温もりと落ち着きを感じることができる。地元出身の利用者や職員が多く、祭のことや昔話で盛り上がることもあり、なじみの店に通ったり、地域の知人とのふれあいもあるなど地域密着型のサービスが提供できている。地域の病院が協力病院となっており、昼夜を問わず対応してくれるなど、利用者が安心して生活できるよう適切な医療も提供されている。自然災害の影響を受けやすい立地ではあるが、緊張感のある避難訓練を実施したり、地元の消防団とも密接な関係を構築するなど管理者や職員の防災意識は非常に高い。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I.理念に基づく運営
- II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム明浜館

(ユニット名) 北ウイング

記入者(管理者)

氏名 土居 京子

評価完了日 平成 23年 6月 1日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 人生の最終ステージを安心と尊厳のあるものにする為、その人らしく生き生きと暮らせるようになる為、私達は力を尽くしたい、を基本にして毎月の目標を立て実践しています。	
			(外部評価) 開設当初からの理念を実践するためにユニットごとに毎月の目標を設定し、職員会で振り返りを行い反省や達成度を協議している。その結果によっては次月の目標を新たに立てたり、達成度が低ければ継続するなど、職員全員でサービスの質を高める努力をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の行事にはほとんど参加できるようになり、買い物、受診等、外へ出るよう努めています。	
			(外部評価) 運営推進会議に地域の方が参加してくれている。利用者が一人で郵便局に行った時は状況を連絡してくれたり、病院受診時や散歩をしている時に声をかけたりしてくれる。また、学生の職場体験の受け入れも計画されている。地域の方に認知症をさらに理解してもらえよう努めて行きたいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 推進会議に参加して下さる地域の方々に伝えていきます。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 会議だけでなく、共に食事をしてもらったり、外出のボランティアをしてもらうことで、中のことを理解していただき、意見交換をしています。	
			(外部評価) 運営推進会議にそうめん流し等の行事を絡め、利用者のいろんな表情や姿を見てもらっている。さらに管理者は、和やかな雰囲気の中で活発に意見交換ができるように努めている。話し合われた内容がわかりやすいように記録もしっかりとられている。様々な立場の方に来てもらえるよう取り組みがされている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 市の担当者が、開設時より関わって下さり、会議にも必ず参加をしてもらっています。	
			(外部評価) 市の担当者は異動もなく、長年関わってくれているのでホームのことをよく理解してくれており、相談などにも気軽に応じ、運営推進会議にも積極的に参加している。生活保護の利用者の生活状況の確認等で担当職員が定期的に訪問してくれるなど良好な関係が構築されている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間のみ施錠しています。安全上、やむを得ない場合はご家族と相談をして、理解を得ています。	
			(外部評価) 言葉遣いや声の大きさなど、言葉での拘束につながることに對して細心の注意を払っている。誰がいてもおかしくないような対応を心がけるよう職員会等で全員に伝えている。管理者は注意されて直すのではなく、職員自らの気づきを大切にしたいと考えている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 声掛け、言葉づかいが乱暴にならないよう努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 制度は知っているが、入居者に必要な方がなく活用していません。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に丁寧に説明し、理解、納得を図っています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員さんの来訪時、ゆっくり時間をとり、意見交換をしてもらっています。ご家族の面会時は近況報告をし、その内容はスタッフ全員が把握できるように申し送っています。遠方の方には手紙を送ったり、電話連絡をさせて頂いています。  (外部評価) 家族の面会時や電話で要望や希望を聞き取っている。出された意見に対しては真摯に対応をしている。また、年に4回程度、介護相談員を受け入れて利用者からの意見等を聞き取ってもらっている。介護相談員との会話を楽しみにしている利用者もいる。聞き取ってもらった内容は報告書として貰い、職員に回覧している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 職員会議や申し送りを通して、意見や提案を出してもらい、反映するよう努めています。</p> <p>(外部評価) 月に1回の職員会で必ず1つは意見を出したり発言をするようにしており、職員からも意見が活発に出されている。出された意見は、実現可能なものからすぐに対応されている。夜勤などで出席できない職員にも記録を回覧したり、口頭で伝達する等話し合われた内容を周知徹底する取り組みがされている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 資格取得を奨励し、有資格者には手当があります。職員の希望に添った勤務表づくりをしています。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 努めています。研修者は会議時に資料を配布し内部研修を行っています。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 研修先で、交流を図れるようにしています。</p>	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 開始の段階では、確保しにくいですが。家族からの情報が中心となります。関係づくりが出来ていく中で、把握できるよう努めています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 出来るだけ時間をとり、何でも話せる関係づくりに留意しています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 生活歴、家族や本人の話、医師の所見等から何が必要と求められているかを見極める努力をし対応しています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 入居者さん一人ひとりのできる事を把握し、できたことに感謝しています。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 来所時は、ゆっくりと過ごしてもらえようお願いします。遠方の方には手紙や写真を送っています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 地元の方は馴染みの人や場所との関係が途切れませんが、地区外のほうは難しいです。  (外部評価) 地域の祭りや行事には積極的に参加し、交流が深まるような環境を作り上げている。昔からの馴染みの店に買い物に行った時や病院受診などで友人や知人とつきあいができるよう配慮している。新しいなじみの関係も構築できるよう取り組んでいるが、利用者の状況が重度化傾向にあるため難しい面も出てきている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 入居者さんの間でトラブルがある時は、スタッフが間に入り、いい関係が保てる様努めます。孤立しがちな入居者さんには、スタッフが適宜対応します。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 電話をかけて、近況を伺います。お手紙や写真を頂くこともあります。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中で、会話や表情などからその人にあつた状態が維持していけるよう、また穏やかに暮らしてもらえるよう努めています。	
			(外部評価) 時間をかけて利用者として、表情や言葉の中から思いや意向を汲み取るよう心がけている。また、家族からの情報や地域のなじみの人からの情報なども活用しながら利用者本位に検討するよう心がけている。	職員の入れ替わりが少ないため利用者のことを十分把握し、日々の記録にも記されているが、古い記録が埋もれて行ってしまう。センター方式のような利用者の思いを書き足せるような様式を検討し、利用者のささやかな思いをいつまでも大切にしていけるような取り組みを期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査や家庭との会話、本人さんとの関わりの中で、今までの暮らし方を把握するようにしています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) お一人、お一人の生活のリズムを大切にしている共同生活に馴染んでもらい、出来ること、出来ない事を把握し、適切に支援できるよう努めています。	



自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月～6ヶ月、変化があれば適宜カンファレンスを行い、見直しをします。ご家族の意見と入居者さんの気持ちも出来る限りくみ取っています。	
			(外部評価) 3か月に1回の見直しと状況の変化による随時の見直しを行っている。ケアプランの内容について利用者や家族にも確認したり、要望を聞き取ったりして利用者本位のプランになるように心がけている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 変化があればその都度話し合い、情報を共有しています。入居者さん、スタッフ共に負担のかからない介護の仕方なども話し合い実践しています。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) その都度対応し、柔軟な支援に努めています。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 本人さんの希望があれば、美容室、理容院を利用しています。買い物も地元のお店を利用しています。保育所との交流や、カラオケの訪問で豊かな暮らしの支援もして頂きます。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) 月に一度は、かかりつけ医に受診しています。急変 時の対応も速やかにして頂いてます。その人にあつた 内服薬を処方してもらっています。</p> <p>(外部評価) すぐ近くの医院が協力病院になっており、定期的な血 液検査等も行っている。必要に応じて総合病院との連 携もとっている。また、利用以前から受診している医 療機関でも継続して受診できるよう、職員が付き添う など利用者が適切な医療を受けることができる体制が 確立されている。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 支援しています。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 情報交換をこまめに行っています。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) こまめに連絡を取り合い、家族の意見を一番に尊重 し進めています。</p> <p>(外部評価) 利用開始時に家族ともよく話し合いがされている上 に、利用者の状態に応じて家族の気持ちのゆれも考慮 しながら、今後の方針を随時確認している。協力病院 の医師が協力的で昼夜を問わず対応してくれている。 管理者もすぐに連絡がとれる体制になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 毎年、講習をしています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練をしっかりしています。地域の方々や、消防団の方々とも連絡を取り合っています。  (外部評価) 地震などの大規模災害が起こった時の避難場所に移動する場合、海岸の道を使用しなくてはならず津波などに対応していないなど運営推進会議の中で話し合われた。また、火災に対する危機意識が強く、緊張感のある避難訓練を実施している。地元の消防団との連携も密にとっており、協力体制も整っている。	防災に対する意識は非常に高く、利用者の重度化傾向を考慮し避難経路を新たに確保するなど取り組む姿勢は模範的であるが、海に面していることや、すぐ裏が山であることなどから自然災害の影響を受けやすいと思われる。職員の知恵や工夫を結集し、利用者の生命や財産を守るようさらなる努力を期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 気を付けて対応しているつもりだが、まだ出来ないときがあるので、努力していきたいです。  (外部評価) 声かけの仕方や声の大きさ、言葉遣いには特に注意をしながらプライドを傷つけないよう配慮している。肌を露出するような入浴等の介助は、同姓介助を基本としている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 働きかけています。不穏時などは、外出の声掛けをして気分転換を図っています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 散歩、理・美容室、買い物等の支援をしています。 無理強いをせず、マイペースの生活をしています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) ご家族と相談しながら、出来る範囲ですしています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) その日の状態を見ながら、出来ることを手伝ってもらっています。苦手なメニューは適宜変更しています。  (外部評価) 利用者の嗜好を十分考慮し、調理方法を変えたり違うおかずを用意するなど個別の対応をしている。職員も同じメニューと一緒に食事をとりながら、支援の必要な利用者の横にさりげなく座り介助している。全体的に重度化傾向にあるため手伝って貰うことができなくなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食の摂取量を確認しています。水分も確保出来るようこまめに支援しています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後は出来ていません。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 日中は全員トイレでの排泄をしています。	
			(外部評価) 日中は一人ひとりの排泄パターンを基に、周りの利用者に配慮しながらトイレ誘導を行っている。どの居室からもトイレが近くにあり、夜間でもトイレ誘導が可能であるが、状態によりオムツや尿取りパッドを使用する利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 棟内の歩行運動、外への散歩、こまめな水分補給を心がけています。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) その日の希望を伺います。毎日の方もあればタイミングを見つけて入ってもらう方もあります。	
			(外部評価) 利用者全員がほぼ毎日入浴している。時間は特に定めておらず、希望に応じて入浴ができるよう対応をしている。希望が特でない利用者は職員がタイミングを見て声かけし入浴している。介助が必要な利用者も職員2人で対応するなど安全に気持ちよく入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日中の活動を個々に合わせて行い、昼夜の区別をつけて生活のリズムを作っています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一番新しい、薬剤状況提供書を添付し、変化がないか確認しています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) その人にあつた作業を毎日の状態を見ながらやってもらっています。(食器すすぎ、食器拭き、洗濯物たたみ、名前書き、ごみ箱折り等)	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 本人の希望や家族の希望には添うようにしています。地域の行事には参加し、ホームにも来ていただけるようにしています。	
			(外部評価) 花見や花火大会の季節ごとの外出行事を計画し、家族も参加できるよう呼びかけ、お弁当を持って行くなど利用者の楽しみの一つとなるように工夫されている。病院受診の後に買い物に行ったり、スーパーやなじみの美容室にも日常的に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自分で管理されている方もありますが、殆どの方は管理者のもとで預かっています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話の支援はありますが、手紙のやり取りはありません。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 眺望の良い場所にあり、常に潮風を感じられます。広い食堂と横になる畳の間があり、台所と一体化している。ほとんどの方がここで1日を過ごされています。	
			(外部評価) 床や壁、柱など木材が多く使用され、柔らかさと温もりを感じる。事業所の窓からは目の前の海が一望でき、潮の香りや海からの風が心地よく入ってくる。リビングは天井近くにも窓があるため、日中は照明がなくてもいいくらいの明るさが確保できている。室温等も適切に管理されており、居心地よく過ごすことができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) それぞれの居場所があり、笑いもあれば口げんかもあります。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 持ち込まれている家具は少ないです。馴染みの家具を持ってきてもらうようお願いするのですが、備え付けで十分だと言われます。	
			(外部評価) 居室の床や壁にも木材が多く使用され、柔らかさと温かみのある落ち着いた居室である。窓からは海や漁港、近くの山が見える。使い慣れたタンスや置物等を自由に持ち込むことができ、利用者の好みや状態に応じて配置されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 広い廊下で車椅子も安全に通ることが出来ます。手すりも設置されています。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3891400032
法人名	株式会社 たかちほ
事業所名	グループホーム 明浜館
所在地	西予市明浜町高山甲688番地
自己評価作成日	平成23年6月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成23年7月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

よく食べ、よく出し、よく笑う。笑顔でふれあいを大切に。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

青い海と緑の山々に囲まれた、風光明媚な高台にある事業所である。建物は木材が多用され、温かな温もりと落ち着きを感じることができる。地元出身の利用者や職員が多く、祭のことや昔話で盛り上がることもあり、なじみの店に通ったり、地域の知人とのふれあいもあるなど地域密着型のサービスが提供できている。地域の病院が協力病院となっており、昼夜を問わず対応してくれるなど、利用者が安心して生活できるよう適切な医療も提供されている。自然災害の影響を受けやすい立地ではあるが、緊張感のある避難訓練を実施したり、地元の消防団とも密接な関係を構築するなど管理者や職員の防災意識は非常に高い。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			



(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム明浜館

(ユニット名) 南ウイング

記入者(管理者)

氏名 土居 京子

評価完了日 平成 23年 6月 1日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念に基づいて実践できるように日々努力しています。	
			(外部評価) 開設当初からの理念を実践するためにユニットごとに毎月の目標を設定し、職員会で振り返りを行い反省や達成度を協議している。その結果によっては次月の目標を新たに立てたり、達成度が低ければ継続するなど、職員全員でサービスの質を高める努力をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の行事や活動に参加して交流を深めるようにしています。	
			(外部評価) 運営推進会議に地域の方が参加してくれている。利用者が一人で郵便局に行った時は状況を連絡してくれたり、病院受診時や散歩をしている時に声をかけたりしてくれる。また、学生の職場体験の受け入れも計画されている。地域の方に認知症をさらに理解してもらえよう努めていきたいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 老人会、婦人会の方、小学校校長先生、民生委員さんに来て頂きグループホームの内容を説明しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に一度多くの方に来て頂きホームのことを報告し、意見をもらっています。	
			(外部評価) 運営推進会議にそうめん流し等の行事を絡め、利用者のいろんな表情や姿を見てもらっている。さらに管理者は、和やかな雰囲気の中で活発に意見交換ができるように努めている。話し合われた内容がわかりやすいように記録もしっかりとられている。様々な立場の方に来てもらえるよう取り組みがされている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 推進会議に参加してもらい、市や県の情報を聞かせてもらったりしています。	
			(外部評価) 市の担当者は異動もなく、長年関わってくれているのでホームのことをよく理解してくれており、相談などにも気軽に応じ、運営推進会議にも積極的に参加している。生活保護の利用者の生活状況の確認等で担当職員が定期的に訪問してくれるなど良好な関係が構築されている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間のみ施錠させてもらっています。	
			(外部評価) 言葉遣いや声の大きさなど、言葉での拘束につながることに對して細心の注意を払っている。誰がいてもおかしくないような対応を心がけるよう職員会等で全員に伝えている。管理者は注意されて直すのではなく、職員自らの気づきを大切にしたいと考えている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待の意味を理解し見過ごさない様に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修には参加しましたが、まだ、活用された方はいません。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書、重要事項説明書に添い説明をしてゆっくり時間をとっています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 重要事項説明書の説明時にもお願いしていますが、まだ玄関の意見箱を利用された方はおりません。  (外部評価) 家族の面会時や電話で要望や希望を聞き取っている。出された意見に対しては真摯に対応をしている。また、年に4回程度、介護相談員を受け入れて利用者からの意見等を聞き取ってもらっている。介護相談員との会話を楽しみにしている利用者もいる。聞き取ってもらった内容は報告書として貰い、職員に回覧している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 職員会議や申し送りを通して気軽に意見が出るように配慮しています。提案がある場合は、みんなで話し合い最良のものになるよう努力しています。</p> <p>(外部評価) 月に1回の職員会で必ず1つは意見を出したり発言をするようにしており、職員からも意見が活発に出されている。出された意見は、実現可能なものからすぐに対応されている。夜勤などで出席できない職員にも記録を回覧したり、口頭で伝達する等話し合われた内容を周知徹底する取り組みがされている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 希望の研修や資格が、取得できる様支援しています。資格手当の支給もあり向上心も持てるようにしています。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 勤務年数にあわせて研修に参加してもらっています。その報告は職員会議で、報告しあい資料を基に法人内研修としています。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) グループホーム協会の研修に参加し、他事業所のスタッフと交流をしています。</p>	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 入居前の調査と入居からの1ヶ月間は家族との連絡を密にして、情報共有しながら、不安を取り除くように努めています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 家族の方とよく話をし要望などを聞き信頼関係が、築けるように努めています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 月に1度の職員会議で、サービス内容を話し合い、家族の方に説明し、要望を取り入れ対応に努めています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者さんの思いを知ること努め、その人に合った対応や声かけに気をつけています。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 来所されたときは、ゆっくりと過す時間や、場所を提供しています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) なじみの美容室を利用し、地域の行事に参加して、関係が途切れないよう、支援しています。	
			(外部評価) 地域の祭りや行事には積極的に参加し、交流が深まるような環境を作り上げている。昔からの馴染みの店に買い物に行った時や病院受診などで友人や知人とつきあいができるよう配慮している。新しいなじみの関係も構築できるよう取り組んでいるが、利用者の状況が重度化傾向にあるため難しい面も出てきている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士トラブルにならないように職員が、気を付けています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退去先に落ち着かれるまで、訪問したり、電話で連絡を取り合っています。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の関わりの中で、会話、表情などからその人の思いや希望を把握するように努めています。	
			(外部評価) 時間をかけて利用者として接して、表情や言葉の中から思いや意向を汲み取るよう心がけている。また、家族からの情報や地域のなじみの人からの情報なども活用しながら利用者本位に検討するよう心がけている。	職員の入れ替わりが少ないため利用者のことを十分把握し、日々の記録にも記されているが、古い記録が埋もれて行ってしまっている。センター方式のような利用者の思いを書き足せるような様式を検討し、利用者のささやかな思いをいつまでも大切にしていけるような取り組みを期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査、本人や家族との会話から、これまでの暮らしを出来る限り把握できるようにしています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりの生活のリズムを大切にし、ホームでの生活に馴染んでもらえるように努めています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	(自己評価) 職員会議でのケアプランの見直し、家族説明のもと、 意見や希望を聞きながら作成するようにしています。	
			(外部評価) 3か月に1回の見直しと状況の変化による随時の見直 しを行っている。ケアプランの内容について利用者や 家族にも確認したり、要望を聞き取ったりして利用者 本位のプランになるように心がけている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに活 かしている	(自己評価) 個々のファイルを作成し身体状況、日々の暮らしぶ り、言葉を記録しています。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機 能化 本人や家族の状況、その時々生まれる ニーズに対応して、既存のサービスに捉わ れない、柔軟な支援やサービスの多機能化 に取り組んでいる	(自己評価) 個々の利用者、重度化において、思ったように行か ないこともありますが、できる限りその時々 のニーズに応えようと努力しています。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源 を把握し、本人が心身の力を発揮ながら 安全で豊かな暮らしを楽しむことができ よう支援している	(自己評価) 利用者の希望があれば、地元美容室に行き、買い物 も地元のお店を利用するようしていくこと で、変わらない暮らしを支援できる様に 心がけています。	



自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) 協力医に定期受診を行い、家族の要望があれば、他の 医療機関への受診介助を行っています。</p> <p>(外部評価) すぐ近くの医院が協力病院になっており、定期的に血 液検査等も行っている。必要に応じて総合病院との連 携もとっている。また、利用以前から受診している医 療機関でも継続して受診できるよう、職員が付き添う など利用者が適切な医療を受けることができる体制が 確立されている。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 職員同士で話し合い協力医師、看護婦に相談してい ます。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 協力医から、手配して頂き、入院、治療等できる様 にしてもらっています。また、情報提供も双方ででき る様になっています。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) 家族、職員、主治医と話し合い、家族（本人）の希望 に添えるように支援しています。</p> <p>(外部評価) 利用開始時に家族ともよく話し合いがされている上 に、利用者の状態に応じて家族の気持ちのゆれも考慮 しながら、今後の方針を随時確認している。協力病院 の医師が協力的で昼夜を問わず対応してくれている。 管理者もすぐに連絡がとれる体制になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 消防署の指導の受け、職員一人一人応急処置法の講習や、体験を受けるなどしています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 消防署の指導を受け避難訓練等実地している。日頃より職員会議等でも話し合っています。  (外部評価) 地震などの大規模災害が起こった時の避難場所に移動する場合、海岸の道を使用しなくてはならず津波などに対応していないなど運営推進会議の中で話し合われた。また、火災に対する危機意識が強く、緊張感のある避難訓練を実施している。地元の消防団との連携も密にとっており、協力体制も整っている。	防災に対する意識は非常に高く、利用者の重度化傾向を考慮し避難経路を新たに確保するなど取り組む姿勢は模範的であるが、海に面していることや、すぐ裏が山であることなどから自然災害の影響を受けやすいと思われる。職員の知恵や工夫を結集し、利用者の生命や財産を守るようさらなる努力を期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 居室への入室は本人の了解を得ています。  (外部評価) 声かけの仕方や声の大きさ、言葉遣いには特に注意をしながらプライドを傷つけないよう配慮している。肌を露出するような入浴等の介助は、同姓介助を基本としている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 本人の意向や思いを察知し、体調などに無理のないように支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 自発的に動ける方、また、それぞれの方の気持ちを尊重しています	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 自分で、洋服を選ばれる方もいます。季節に応じた服になるよう支援したり、爪きりや髭剃りは、気をつけて行っています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 献立によって下ごしらえを手伝って頂いたり、食後の食器洗いや、食器拭き等の片づけを一緒にしています。  (外部評価) 利用者の嗜好を十分考慮し、調理方法を変えたり違うおかずを用意するなど個別の対応をしている。職員も同じメニューと一緒に食事をとりながら、支援の必要な利用者の横にさりげなく座り介助している。全体的に重度化傾向にあるため手伝って貰うことができなくなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 特に水分補給に気を使っています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後口腔ケア誘導、介助を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 自分でいけない方は時間をみて、声かけ誘導し、一人一人の排泄パターンを把握することにより、トイレでの気持ちよい排泄を心がけています。	
			(外部評価) 日中は一人ひとりの排泄パターンを基に、周りの利用者に配慮しながらトイレ誘導を行っている。どの居室からもトイレが近くにあり、夜間でもトイレ誘導が可能であるが、状態によりオムツや尿取りパッドを使用する利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 毎日の牛乳や水分補給、食材にも繊維質の多い野菜等取り入れています。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) その日の体調に合わせて入浴支援を行っています。また、残存機能に合わせて声かけ、介助などして、気持ちよい入浴を心がけています。	
			(外部評価) 利用者全員がほぼ毎日入浴している。時間は特に定めおらず、希望に応じて入浴ができるよう対応をしている。希望が特でない利用者は職員がタイミングを見て声かけし入浴している。介助が必要な利用者も職員2人で対応するなど安全に気持ちよく入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者さんによって、居室で昼寝や、ベッドで足を伸ばして休まれたりしてもらっています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 朝昼夕、食前食後、氏名を記入して、薬の内容が分かるように処方箋をいつでも見ることができる様になっています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 洗濯物たたみ、胡麻すり、ごぼうそぎ、テーブル拭き、牛乳パック切り等、その方に出来るお手伝い等もしてもらっています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 春はお花見、夏は花火、そうめん流し、祭り見物、美容院等、支援しています。	
			(外部評価) 花見や花火大会の季節ごとの外出行事を計画し、家族も参加できるよう呼びかけ、お弁当を持って行くなど利用者の楽しみの一つとなるように工夫されている。病院受診の後に買い物に行ったり、スーパーやなじみの美容室にも日常的に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ほとんどの方が事業所での管理ですが自分で、持たれている方もあります。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望があれば、職員が家族に電話をかけてお話ができる様に支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 食堂、居間、廊下など、四季を感じる絵やカレンダー、日頃、行事等に写した利用者さんの写真等レイアウトしています。	
			(外部評価) 床や壁、柱など木材が多く使用され、柔らかさと温もりを感じる。事業所の窓からは目の前の海が一望でき、潮の香りや海からの風が心地よく入ってくる。リビングは天井近くにも窓があるため、日中は照明がなくてもいいくらいの明るさが確保できている。室温等も適切に管理されており、居心地よく過ごすことができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 本人の意思で、居間で新聞を読まれたり、テレビを見られたり自由に過してもらっています。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居者さんによっては、家族やお孫さんの写真を飾られたりしておられます。男の方で、テレビを置いて、毎日楽しまれている方もおられます。	
			(外部評価) 居室の床や壁にも木材が多く使用され、柔らかさと温かみのある落ち着いた居室である。窓からは海や漁港、近くの山が見える。使い慣れたタンスや置物等を自由に持ち込むことができ、利用者の好みや状態に応じて配置されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) バリアフリーで、廊下やトイレにも手すりが取り付けられているので、利用者に応じた生活を送ってもらえるよう工夫しています。	